

児童vs保護者：ルール認識における「ギャップ」

児童の自己評価（できている）



約80%の児童が、自分はルールを守れていると自己評価しており、自信を持っています。

学校やクラスの約束、
ゲーム／スマホのルールを守っている

認識のズレ



約75%の児童が、毎日一定の時間を学習に充てていると回答しており、自己管理ができていると感じています。

家で学習している時間

メディアの
ルール

家庭での
学習時間

保護者の客観評価（できている）

保護者の約40%のみが、子どもはルールを完全に守れていると評価しており、認識に大きなズレがあります。

お子たちはルールが
守れていますか

認識のズレ

保護者の約35%が、子どもの家庭学習時間が十分ではないと感じており、客観的な評価は厳しい結果

家庭での学習時間はどれくらいですか



子ども自身は『できている』という主観的な感覚を持っていますが、
大人の客観的な評価とは大きなズレが生じています。
この認識のギャップが、指導や支援における課題となっています。

醍醐西小学校 学校評価アンケート結果と今後の取り組み

学校生活の成果と、家庭での読書・メディアルールの課題について

成果と肯定的な変化



93.5%

「将来の夢を持っている」児童

前回の86.4%から増加し、総合的な学習やキャリア教育が成果を結んでいます。

80%超

学校生活や友人関係への高い満足度



楽しく通う児童
86.3%

友達と仲よく過ごせる
91.8%



95.5%

学校の情報発信に対する肯定評価

おたよりやアプリ「すぐーる」を通じた情報共有が定着しています。

今後の課題とご家庭へのお願い



家庭での読書時間の減少



目指せ!1日10分 親子で本を開く習慣作り (テレビ・ゲームを離れて)



メディアコントロール (スマホ・ゲーム)の習慣化

年3回の取り組みに加え、自分でルールを守る力を学校と家庭で育みます。

学校と家庭で連携し、
子どもたちの健やかな成長を支えましょう。

自由記述欄

に頂いたご意見・ご質問



○スマホの教育をしてほしい。「学校のきまり」は守ってくれるので、スマホの影響を伝えてほしい。
○YouTubeを観る時間をもう少し減らしたいと思っています。

⇒保護者の皆様からいただいたご意見を受け、学校でも長時間のSNS利用や動画視聴が心身や生活に与える影響について指導してまいります。また、メディアコントロールDAYの取組等を通して、子どもたちがメディア利用を自ら適切に管理する力を育んでいきたいと考えています。
今後ともご家庭と連携しながら、子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。